

## 組織拡大実現！名古屋駅営業係22才！熱烈歓迎！ 若き仲間の勇気に学び、 さらなる組織拡大を実現しよう！

本日、名古屋駅営業係の若き青年・M君（22才）がJR東海ユニオンと決別し、私たちJR東海労に加入した。2月1日の大阪修繕車両所分会に次ぐ組織拡大を実現したのだ。JR東海労全組合員・家族・OBは、この勇気ある決断に敬意を表し、心からM君の加入を喜び、大歓迎の意志を高らかに表明する。

言うまでもなく、名古屋駅はJR東海本社のお膝元であり、その労務管理は徹底している。全ての社員が「命令と服従」「規律と忠誠心」に縛られ、自称「責任組合」を標榜するJR東海ユニオン指導部は、会社の第二労対部としてのみ存在しているのである。さらに、職場の多くはJR東海ユニオン組合員である。そして、彼がJR東海労に加入したことにより、会社・管理者からのなりふり構わぬ嫌がらせ・攻撃なども予想される。そのような状況の中で、JR東海労組合員としてたった1人で頑張っていくという決意は並大抵ではない。

JR東海労全組合員は彼の勇気に学び、全ての仲間の力を結集し攻撃を跳ね返し、断固M君と共に闘っていく決意である。私たちは、職場の理不尽と闘い働きやすい職場づくりを目指しJR労働運動発展のために邁進する。そして、M君に続く新たな仲間を迎え入れるために一層奮闘する。そのことが、若き新組合員M君の勇気に応えることである。

彼は、入社後名古屋駅に配属となった。当時の名古屋駅の新入社員教育は雑であり、新人へのサポート体制は決して十分なものではなかった。従って、不慣れなためにミスを犯してしまうことも、現実としてやむを得ざる事態となっていた。しかし、そのような場合においても、彼は誰からも手助けされることはなかった。彼は、悩み追い詰められ、そして疲れ果てしまい休職に追い込まれてしまったのだ。

しかし、1年ほどの休職で職場に復帰することができるようになり、再び名古屋駅で勤務することとなったが、当時の管理者は、休職から戻った彼をサポートするどころか、ことあるごとに心無い言動を浴びせかけ、彼を追い詰めたのである。一方、JR東海ユニオン役員は、このような彼を前に「自分の身は自分で守れ」などと管理者を擁護する立場にたち、いっさい救いの手を差し伸べようとはしなかったのである。

さらに許せないことに、当時の管理者は、面談で彼の人格を否定し、その挙句、強引に自己都合退職へ持ち込もうと画策したのである。そのような仕打ちを受けた彼は、結局体調を崩すこととなり、再び休職に追い込まれることになってしまったのである。

これらのことが原因で、彼は仕事に励む力が奪われてしまったのだ。しかし、彼は自らが経験した理不尽な対応を、私たちJR東海労に相談してくれたことから、会社やJR東海ユニオン指導部を許してはいけないと意志し、JR東海労加入を決意したのである。

いま、職場は「命令と服従」「規律と忠誠心」の社員管理がはびこり、人間性までもが失われつつある。この社員管理を後押ししているのがJR東海ユニオン指導部である。今回の加入は、まさしく非人間的な職場を否定し、人間味あふれる職場を目指す彼の決意であり、具体的実践である。

他労組組合員の皆さん、いまの社員管理を良しと思っている人は、皆無に等しいのではないのでしょうか。暗い職場に縛られ続けるのか、明るい職場で生き生きと働くのか、その選択の時期です。JR東海労は、明るい職場づくりのために、すべての皆さんに加入を呼びかけます。

JR東海労は、決意新たに、安全、平和・人権、労働条件改善など、組合員の利益最優先の闘いをつくり上げ、さらなる組織拡大を目指すものである。

2011年10月5日  
JR東海労働組合